瞳を輝かせて
Brilliant Eyes

全力でやり切る思いを込めて「一球入魂」

豊田リトルリーグから全日本リトルリーグ野球選手権大会へ出場

内村 僚佑君（三好丘旭）、岡本 大雅君（三好丘あおば）、宮崎 公輔君（三好丘あおば）
内村 太紀君（三好丘旭）、岡田 浩志君（ひばりケ丘）

豊田・三好地区では唯一のリトルリーグ（少年硬式野球）のチーム「豊田リトルリーグ」。創部31年の歴史を誇る古豪で、現在小学1年生から中学1年生までのおよそ90人が所属しています。5月から6月にかけて行われた東海北陸ブロック大会で、見事全日本リトルリーグ野球選手権大会へ出場する第2代表の座を獲得。7月5日と12日に東京都で行われた全国大会に4年ぶり4回目の出場を果たしました。

今回は三好町出身で、この豊田リトルリーグに所属している内村僚佑君、岡本大雅君、宮崎公輔君、内村太紀君、岡田浩志君を紹介します。

全日本選手権出場までの道のりは決して平坦なものではありませんでした。東海北陸ブロック大会の準決勝では、優勝した松坂リトルリーグに惜敗。その後、敗者復活戦トーナメントに進み、準決勝で劇的な逆転サヨナラ勝ち。勢いに乗って決勝戦も快勝し、全日本選手権出場第2代表の座をつかみました。内村太紀君は「敗者復活戦トーナメント準決勝での逆転勝ちでチームは勢いに乗ることができ、第2代表として全日本選手権に出場できました」と振り返ります。

激闘の末につかんだ全日本選手権への切符。大会で先発投手を務めた宮崎君は「出場を決めたとき、初めは実感がわきませんでした。夢見ていた大会に出場できて、とてもうれしかったです」とにっこり。岡本君は全日本選手権の第一試合について「試合前は緊張して足が震えていました。しかし、みんなの応援で緊張がほぐれ、自分のプレーに集中できました」と話します。初回に宮崎君のヒットと岡本君の好走塁で1点を先制。しかし、その後チームが逆転され2対7で敗退しました。

誕生月制限のため出場できなかった内村僚佑君は「試合に出られない分、一生懸命応援しました。チームが負けて本当に悔しかったです。9月からはシニアリーグに入るので、この悔しさを糧にシニアリーグでも全日本選手権出場を目標に頑張りたいです」と次の目標を熱く話します。また、けがで出場できなかった岡田君も「来年はチームで一番上の学年になるので、見本となれるようなプレーをしてチームを引っ張っていきたいです。」と来年への抱負を語ります。

チームのスローガンは「一球入魂」。集中力を持って全力でやり切るという思いを胸に、5人は次の舞台に向け夢中で白球を追い掛けます。

▶▶▶プロフィル

おかもと・たいが（前列右） 三好丘中学校１年生。ポジションは捕手。好きな選手は阪神の金本選手。
おかだ・ひろし（前列左） 緑丘小学校６年生。ポジションは捕手。好きな選手はマリナーズの城島選手。
みやざき・こうすけ（後列右） 三好丘中学校１年生。ポジションは投手、外野手。将来の夢は甲子園優勝投手。
うちむら・たいき（後列中） 三好丘小学校６年生。ポジションは内野手。将来の夢はプロ野球選手。
うちむら・りょうすけ（後列左） 三好丘中学校１年生。ポジションは投手、外野手。将来の夢はメジャーリーガーになって活躍すること。太紀君とは兄弟。

▶全日本リトルリーグ野球選手権大会１回戦で先発投手として登板した宮崎君。チーム一丸でスローガンの「一球入魂」をモットーに一生懸命プレーしました。

Happy Birthday

おめでとう お誕生日8月

安部 和樹くん（三好丘桜）平成17年8月9日生

父・朋彦さん　母・尚美さん

『わが家のひょうきんなスティッチ』

いたずら好きでひょうきんなかーくん。声も大きくて元気なので、お父さんやお母さんにディズニーのスティッチみたいだねっていわれているんだって。ご飯の後は食器を片付けてくれる優しいかーくんに「たくましく明るい子になってね」とお母さん。

槇田 愛子ちゃん（新屋）平成18年8月8日生

父・敏也さん　母・充代さん

『音楽に合わせて元気に踊れるよ』

体を動かすことが大好きなあいちゃん。公園ではジャングルジムや滑り台でよく遊んでるんだよ。バランスボールの上に乗ったり、音楽に合わせて上手に踊ったりできる元気なあいちゃんに「素直で明るく、優しい子になってね」とお父さんとお母さん。

工藤 蓮くん（黒笹）平成17年8月4日生

父・克さん　母・英里さん

『ゴーオンジャーに変身したいな』

大好きなゴーオンジャーのおもちゃや本をいっぱい持っているれんくん。将来の夢はゴーオンジャーになることなんだって。自転車に乗ったり、でんぐり返りをしたりできる元気いっぱいなれんくんに「お年寄りに優しく、思いやりのある子になってね」とお母さん。

HIMAWARI

お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

▲出場者募集

【10月のお誕生日コーナー】

▶応募期間＝9月1日から3日まで　▶対象＝10月生まれで3歳未満の児
▶応募方法＝秘書広報課へ電話で☎(32)8357
※8月生まれの応募は、11人でした。（抽選により掲載決定）

?広報クイズ

問 ある共通点を持つ次のA、B、C3つのグループの中に、それぞれ一つずつ仲間はずれの漢字があります。その漢字をア、イ、ウ、エ、オから選んでください。

A　ア、曜　イ、肝　ウ、災　エ、泉　オ、夏

B　ア、仙　イ、幽　ウ、休　エ、岩　オ、岳

C　ア、暇　イ、嶋　ウ、詳　エ、然　オ、漁

【応募方法】①答え（例：Aア、Bイ、Cウ）②郵便番号③住所④氏名（ふりがな）⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】
はがき…〒470－0295
三好町役場秘書広報課（住所の記入不要）
ファクス…FAX(34)6008
電子メール…✉hisyokoho@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】8月13日（水）必着

【7月号の正解と当選者】答え：ペットボトル（全37通正解37通）伊藤猛夫、加藤美智代、笹本明香、杉浦文香、中條敬子、堂山岳之、野中秀敏、水谷将之、吉田涼乃、渡邊圭祐（敬称略）

※ご応募いただいた個人情報は、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。

まちの話題

Machi no Wadai

ボールの行方は表情で分かる？

町制施行50周年記念グラウンド・ゴルフ大会

7月5日、グラウンド・ゴルフ大会が三好公園陸上競技場で開催されました。町制施行50周年を記念して行われたこの大会。下は9歳の子どもから、上は90歳のお年寄りまでの224人が競い合いました。1打でも少ない打数で上がろうと、クラブを握る参加者の表情は真剣そのもの。ホールインワンを出して喜ぶ人や、惜しくもホールを外れ悔しがる人の声が会場のあちらこちらで聞こえ、参加者たちは楽しそうにプレーしていました。

ユース世代の頂点目指して

日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会東海大会

第23回日本クラブユースサッカー選手権（U－15）大会東海大会が7月6日と12日の2日にわたり、旭グラウンドなどで行われました。4位までのチームには、8月8日から行われる日本クラブユースサッカー選手権（U－15）大会の出場権が与えられるとあって、どの試合も白熱した好ゲームを展開。決勝戦では名古屋グランパスU15とFC四日市が対戦し、3対0で名古屋グランパスU15が快勝。この大会での初優勝を飾りました。

よーく狙って･･･打てー！

七夕まつり（莇生保育園）

7月7日の七夕に、町内各保育園で七夕まつりが行われました。莇生保育園では園児たちが七夕や星にまつわる話を聞き、先生による七夕を題材にした劇を見ながら、楽しく由来を学びました。また園庭では模擬店が開かれ、水鉄砲の的当てや輪投げ、おやつやおもちゃがもらえるくじにみんな夢中。年長園児が年下の子の手を引いて、一緒に連れて歩く姿が見られるなど、園児たちは仲良く季節感いっぱいの行事を楽しんでいました。

まちの話題 Machi no Wadai

おわびと訂正

広報7月15日号10ページ、少年の主張三好町大会の記事で、県大会への出場者選考会に推薦された生徒の氏名と所属学校名に誤りがありました。正しくは、南中学校3年生の増岡千恵さんと北中学校3年生の扶瀬聡史君です。おわびして訂正します。

新しい家族を迎える準備を

パパママ教室（マタニティコース）

出産を控えた妊婦とその夫を対象にしたパパママ教室マタニティコースが7月11日、保健センターで行われました。年3回の開催予定で第1回目となる今回は14人が参加。体に負担を掛けにくい座り方や運動のほか、赤ちゃんへの授乳の仕方について講義を受けました。講義後にはストレッチを二人ずつ組になって実践。初対面で緊張していた参加者も次第に打ち解け、楽しそうに会話を弾ませながら互いに体を伸ばし合っていました。

笑って健康になろう

落語を聞く会「笑いと健康」

7月10日、サンアートふるさと会館で「笑いと健康」をテーマにした、落語を聞く会が行われました。話し手は駒久家南朝さん。全国の素人落語競演会で入賞歴もある人気の素人落語家です。また南朝さんは普段、蒲郡市で耳鼻咽喉科の医院を開業している医師で、2足のわらじを履く異色の落語家。時折、医学用語も織り交ぜた健康についての落語で大いに盛り上がり、会場は参加者の楽しそうな笑い声に包まれていました。

一漕ぎ一漕ぎに集中

町民カヌー大会・中学校対抗カヌー大会

7月13日、小学生から大人まで参加できる大会を通して、カヌー競技の普及と技術の向上を図ろうと、第13回町民カヌー大会が三好池カヌー競技場で行われました。同時に、第19回中学校対抗カヌー大会も開催され、両大会合わせて120人の選手が参加。開会式では三好中学校3年の岡出裕哉君が「一漕ぎ一漕ぎに集中しベストを尽くします」と選手宣誓。その後選手たちは各種目に別れ、31レースの熱い戦いが繰り広げられました。